

丹波市豪雨災害からの復旧・復興への取り組みを聴いて 土山地域ご近所福祉推進協議会から伝えたいこと

心に残るメッセージ

- ★ “災害が起こる前からつきあいがあったから、近所の方から食事をいただくことができた”
- ★ “災害が起こる前からつきあいがあったから共に活動ができた”
- ★ “専門家やボランティアの方々とつながり、協力があって活動ができた”
- ★ “活動のきっかけは、地域を元気にしたい”
- ★ “一人暮らしの高齢の方が増える中、今のメンバーとともに活動できることが心強くてうれしい”

自然災害は人を選ばず被害をもたらすものです。そのため、高齢の方や障がいのある方ははじめ避難などが困難になる可能性のある方が大きな被害を受けやすいような取り組みが必要です。そこで、昨年度や今年度の災害時におけるお互いの助け合いや災害後の復旧と復興の取り組みをテーマにフォーラムを開催しました。

今年度も昨年度のフォーラムと同様、日頃からのつながりや支え合いが大切であることを改めて聴くことができました。

ぼんぼ好のみなさんのお話からご近所同士や、専門家・ボランティアとのつながりが災害という困難を乗り越えるために大きなチカラになることがよくわかりました。

また、日頃のつながりの大切さは、災害が

起こった時に誰かの助けになるためだけではなく、自分自身や地域を元気にし、勇気づけることができるものであることもわかりました。

そのような地域が、高齢の方も障がいのあきる地域であること近所福祉推進協議会がフォーラムを開催する方も日頃から安心して、生き生きと生活できる地域であることを願っています。



“ぼんぼ好”さん 災害を乗り越え、活動が喜びへ 今や、まちの活性化シンボルに



秋野さん

「災害後「何かしたい」一みんなが食べに来る所をつくりたい」と炊き出しを始めました。地域に今までの元気がなく、元に戻るのではなくより元気になればと思いい活動を続けました。

食を食べること、作るのが好きという自分の気持ちから始め、今もお弁当作りや地域での交流会などの活動を続け、地域の人の交流にも広がっていると感じています。(金井さん)



今井さん

フォーラムにお越しいただいた「ぼんぼ好」の5名の方から、災害を乗り越え、楽しく熱い思いをもって活動されていることについてお話しいただきました。抜粋して紹介します。

炊き出しを始める前に、昔からの知り合いや子どもが同年代の母親にお手伝いの声をかけました。人となりを知っていたり、お願ひするので、お願ひするこの大変さはなく、お互いに手を携えて生活をしていこうと思えるつき合ひは大切だと思いました。

また活動を続けていくことで人との新たな出会いにつながると感じています。(西村さん)



西村さん

家が水と土砂の被害を受けましたが、子どもが友だちが助けに来てくれるなど家の復旧には色々な人のお世話になりました。日頃の交流がある方の顔を見ることが心が落ち着くこともあり、日頃のつき合ひがあればここまで手伝ってもらうことはできないだろうと思えます。

私たちが段々と高齢になっていきますが長く活動が続けていければと思っています。(秋野さん)

仲間と一緒にいろいろなことを経験して地域の方に喜んでいただく場をつくることができています。

近くに心強い仲間ができたことを誇りに思っています。近所でお助け合って生活をしていく大切さを実感しています。(秋野さん)



秋野さん

災害はつらい経験となりましたが、災害をきっかけにこの年齢になって仲間ができて、ボランティア活動やみんなに力を貸してもらい新しい経験ができると思っています。(余田さん)

ボランティアの仕事や、団体での活動の仕方など全くわかりませんが素直に経験だと思っています。



余田さん



防災・見守り研修会 令和4年8月18日 (土山地域ご近所福祉推進協議会×山内自治振興会地域福祉部)



本研修会は、土山地域ご近所福祉推進協議会が、暮らしの課題を土山地域の皆様と一緒に考えて、つながりながら活動したいという思いのなかで今回は「地域の防災」をテーマに山内地域の皆様と話し合いを行ったものです。

はじめに基調報告として昨年に実施した「防災フォーラム」での講演内容の紹介があり、これを受け、参加者は5つのグループに分かれ「自分事として、家族を守るために何ができるか」「区として、ご近所を守るために何が話し合いをされましたか」など、参加者の皆さんからは、「ローリングストローク、家族全員で行う」「災害伝言ダイヤル171」の練習など日頃の実践活動が紹介されました。また「地域でハザードマップなどの防災学習や避難訓練をして欲しい」などの意見があり、皆さんの防災意識の高さをうかがい知ることができました。

日頃から高齢者への声掛け・見守りなどのつながりが大切であること、また一人暮らしの高齢者等の避難行動要支援者の把握や情報共有、避難支援が必要なもの、個別計画の早期実施を望んでおられました。また、「寝たきり高齢者を連れて避難する」という意見もあつた。これはどの地域でも今後は大きな課題と言えそうです。

土山地域ご近所福祉推進協議会は、このように地域ご近所福祉推進協議会では、このように課題解決への思いの強い皆さんと共に取り組んでいきたいと思います。